

# 議員報酬大幅引き上げは許せません! 増額分は寄付します 日本共産党



自民、民主、公明の3会派は3月8日、「勝手に決めるな!」「市民の声を聞け」などの市民世論を無視して、議員報酬額を年800万円から1455万円に引き上げる条例を強行。日本共産党は、「民意を削り、議員の身を太らせる」との理由で、定数削減にも最後まで反対の論陣を張りました。

日本共産党は、報酬の増額分については使わず、寄付することにしました。今後、市民の皆さんとともに、報酬額を800万円に戻す条例の実現に全力を尽くします。

## 市民の意見を聞け

江上博之議員は、報酬引き上げ条例を提案した自民公3会派に対し、「現行の年800万円の報酬でどのような支障が出ているのか」と追及。

さらに、3会派で報酬引き上げを選挙公約にかけた議員が一人もいないと指摘。「議会基本条例に明記された参考人制度や公聴会などを活用せず、委員会審議すらやらない。こんな非民主的で、市民の思いを無視した報酬引き上げ条例は撤回すべきだ」と主張しました。



江上博之議員  
(中川区)

## 定数削減は報酬引き上げの方便

山口清明議員は、自民公3会派が提出した議員定数削減条例に対し質問に立ち、定数7減による経費削減額は政務活動費込みで年間9800万円、一方議員報酬の引き上げで年間約4億5千万円の経費増となると指摘。「これでは“身を切る”どころか“焼け太り”だ。定数削減は議員報酬引き上げの方便ではないか」ときびしく批判。「議員定数の削減は市民の多様な民意を切り捨てるものだ」と述べ、撤回を求めました。



山口清明議員  
(港区)

## 定数削減 削られるのは市民の声

日本共産党は、最新の国勢調査(人口速報値)にもとづく議員定数条例改正案(1増1減)を提案。西山あさみ議員が提案説明しました。

自民公3会派提出の定数削減条例が減税日本ナゴヤも賛成し可決され、日本共産党案は否決されました。



西山あさみ議員  
(中区)

### 2月議会で改定された議員定数

行政区	定数	行政区	定数
西区	5→4	南区	5→4
中村区	5→4	守山区	6→5
昭和区	4→3	緑区	8→7
港区	5→4	総定数	75→68

## 報酬800万円に戻す条例実現に声をお寄せください

いま、報酬引き上げの強行に「自民党、民主党、公明党を懲らしめたい。どうしたらしいのか」という声が寄せられています。

日本共産党は、議員報酬の引き上げ、議員定数の削減に反対した姿勢を堅持するとともに、市民の声にこたえ「報酬800万円を超える分は寄付」することを明かにしました。さらに、「**800万円に戻す条例実現に全力を尽くす**」との見解を4月5日に記者会見で発表しました。

### 報酬引き上げ強行したのは、自民、民主、公明

議員報酬をめぐって2月議会では、日本共産党(12名)と減税日本ナゴヤ(12名)が、市民の意見を聴取するよう求め、報酬引き上げに反対しました。市民の怒りは、市民の声を聞かずに報酬引き上げを強行した自民・民主・公明の3会派に向けられており、この暴挙に反対した市議会の3分の1近くを占める議員も含めた「議会全体」に向けられてはいないはずです。

### 市長主導のリコール運動は 憲法の二元代表制に反する

河村たかし市長は、名古屋市議会が閉会した翌日の3月19日、街頭演説で「『リコール(議会解散請求)の署名運動をして、市

## 天守閣木造復元

500億円



## 河村市長の発言 「税金は使わない ってほんと?」



が「入場料は500円で」といっているのに、名古屋市は「入場料の値上げまで想定」という考えも明らかにしました。

### 局長「税金投入しないわけではない」

市長の「税金は一切使いません」という発言について、名古屋市は「計画通りにいかない場合は、税金を投入しないというわけではない」と答えています。



岡田ゆき子議員  
(北区)

### 市民を惑わす市長発言

市長は、「天守閣で稼げるまちにすれば、福祉に回すお金をつくることができる」とか「入場者数400万人で、入場料は500円。30年で返せば、総額600億円かけても税金は一切使わない」と繰り返していました。

しかし、400億円の建設費を想定していた2月議会で、名古屋市は木造復元後の入場者数予測を、現在の2倍(330万人)、入場料見込みが247億円、不足分は、国・県の補助金と寄付金をあてると説明しましたが、補助があるのかも不確定です。さらに、市長

### 日本共産党は提案します

- 名古屋城天守閣については、耐震補強を含む長寿命化をすすめ、ぼう大な費用を要する木造復元については将来の市民にその判断をゆだねる。
- 二之丸庭園の保存整備を優先するなど、『名古屋城跡全体整備計画』に沿って総合的かつ計画的に進め、城跡全体としての魅力向上につとめる。

### 東京オリンピックまで 「不可能といえるほど非常に厳しい」 (竹中工務店技術提案書)

名古屋城天守閣に関する竹中工務店の技術提案書でも、「名古屋城の完全に史実に忠実な復元は・・・10~20年はかかる」と判断している。・・・残された期間は4年と4ヶ月であり、史実に忠実な復元を実現するには不可能といえるほど非常に厳しい」という認識を示しています。

## その一方で 「コスト削減」を理由に 学校給食まで民間まかせ

名古屋市は4月から西山小(名東区)・大清水小(緑区)・荒子小(中川区)で、「経済的なメリット」を理由に給食調理業務を民間委託しました。「知らないうちに勝手に決められている。なぜ親が関われないのか」等の声が続出し、見直しを求める署名を河村市長に直接手渡し、撤回を求めました。3月末に署名は2万5千筆を超みました。



河村市長に学校給食の民間委託「見直し」を求める要望書を渡し、アレルギー対応など安全な給食をつくってほしい、と求める保護者(2016年2月19日)

市民と共に  
撤回求める  
日本共産党

### 経験と安定雇用が必要

委託業者の調理員募集は、パートで時給820円、「経験求む」の記載なし。別の落札業者は、1年前に食中毒事件を起こしていたことも判明。

青木ともこ議員は「毎日の大切な給食を、子どもたちに届けるためには、確かな経験と技術、そして安定した労働環境が不可欠です。民間委託は直ちに撤回を」と迫りました。



青木ともこ議員  
(西区)

### 図書館への指定管理者制度の拡大には反対

志段味図書館が指定管理になった検証が行われましたが、問題だらけでした。それなのに、中村・富田・緑・徳重の4図書館も指定管理に。

短い期間の中で民間事業者等に指定管理を競わせる制度は、公共性の高い、職員知識の蓄積が必要な図書館には合いません。



# 貧困と格差をただし、市民の暮らし応援

2016年2月議会

## 市民の声を市政に届けました

日本共産党

奨学金の改善へ

### 奨学金返還支援と高校給付奨学金

「奨学金を毎月16000円ずつ返済していく貯金もできず、将来設計も立てられない」——奨学金の返還に苦しむ若者の声を、代表質問で取り上げた田口一登議員。市当局は、奨学金の返還を市が支援する制度と私立高校生を対象にした給付型奨学金を予算要求しましたが、予算に計上されませんでした。



田口かずと議員（天白区）  
河村市長に奨学金に関する要望署名を渡す  
青年たちと西山議員



田口かずと議員（天白区）

代表質問

子育ての負担軽減へ

### 給食費無料化と保育料の無料拡大

子どもの貧困が深刻に。田口議員は、「多子世帯が貧困に陥らないよう、経済的負担を軽減するために、第3子からの小学校給食費助成制度の創設を」と要求。河村市長は「給食費を応援するというのはええですね」と答弁しましたが、実施するとは言いませんでした。

国が無料化を拡充する保育料について田口議員は、「国の無料化の拡充によって浮いた財源を活用して、低所得世帯の場合は、第2子も保育料を無料に」と求めました。河村市長は「無料化の拡大は、まずひとり親家庭からやつたらどうか」と答えました。

### 栄養教諭を全小学校に

小学校5年生では約9割が朝食を毎日食べていますが、中学2年では80%に、20代では男性38%に低下します。くれまつ議員は「若者の朝食欠食傾向を改善するためには、子ども時代の食育が重要だ」と説明。食育を担う栄養教諭が市内中学校には2人しか配置されていない現状を開拓するため、栄養教諭の増員を求めました。



くれまつ順子議員（守山区）

衛生研究所

### 放射性物質検査の情報発信

市立衛生研究所は、感染症の検査や、残留農薬から放射能など食品の安全性を確認する検査や研究を幅広く行っています。くれまつ議員は、現行の研究体制が技術職員36人であり、横浜市61人、大阪市57人、京都市48人とくらべてあまりに少ないと指摘。体制の強化とともに、情報発信をホームページ以外でも分かりやすく発信することを求め、健康福祉局長は、「業務に見合った研究員の確保に努めたい」「より分かりやすい内容になるよう努めたい」と答えました。

### 大高南小の運動場を広く

児童数の増加にともない、運動場に新たに校舎が建った大高南小学校（緑区）。「狭い運動場を、隣接地を活用して広げてほしい」と、住民から請願が出されました。委員会審査で不採択に。

さはしあこ議員は本会議で、請願の採択を求めて討論を行いました。しかし、日本共産党以外は賛同せず、本会議でも不採択になってしまいました。



さはしあこ議員（緑区）

### 学校図書館に専任の司書を

#### 教育長「学校司書を配置できるよう検討」

名古屋市内の小学生で、1か月に1冊も本を読まない児童の割合は7%と、全国平均の約2倍です。高橋ゆうすけ議員はその背景として、「蔵書が少ない、常時開館されていない、専任の司書がない」という学校図書館の現状を告発。

「子どもの『居場所』ともなる学校図書館づくりを支える学校司書の配置をできるだけ早く」と求めました。



教育長は「学校司書を配置できるよう種々の角度から検討する」と答弁しました。



高橋ゆうすけ議員（南区）

### 財源はあります

日本共産党市議団は本会議に、一般会計予算の組み替えを求めて動議を提出。藤井ひろき議員が、提案説明を行いました。

組み替え案は、「大企業・金持ち優遇の市民税減税を中止し、リニア関連開発など不要不急の事業を削減して、約140億円の一般財源を確保。

この財源を活用して、◆小学校給食費の無料化◆18歳までの子ども医療費無料化◆私立高校授業料補助単価の引き上げ◆給付型の私立高校奨学金の創設◆奨学金返還支援制度の創設◆小中学校での少人数学級の拡大◆国保料の一人3000円引き下げなどを行うというものです。



藤井ひろき議員（中村区）

予算組み替え案を提案

### 国保料差し押さえ3286件

#### 高すぎる保険料の引き下げこそ

名古屋市の国民健康保険料の収納率は、政令市の中でトップ。今でも、保険料が高すぎて支払えない、と市民から声が上がっています。それなのに河村市長は、予算案提案説明で「国民健康保険料の収納体制を強化し、収納率の向上に努める」と表明。さいとう愛子議員は、差し押さえ件数が2010年度は1254件なのに2015年度は3286件と増えている実態を示し、丁寧な納付相談できる体制の充実を求めました。



国保料引き下げを求める請願署名を提出する「国保をよくする会」



さいとう愛子議員（名東区）

### 演劇練習館（アクトノン）は飽和状態

### 空き店舗・倉庫を稽古場に

市内で唯一24時まで利用できる演劇練習館アクトノンは、平均利用率が98.9%と飽和状態です。柴田民雄議員は、「市民の文化活動の稽古場不足は深刻。生涯学習センターやコミセンの1部屋に防音工事を施し練習もできる部屋に。空き店舗や空き倉庫を稽古場に」と提案しました。

柴田議員はまた、新局「観光文化交流局」について、観光偏重ではなく、市民文化の振興も柱に据えて取り組むよう求めました。市当局は、「市民文化の振興もしっかりと取り組んでいく」と答弁しました。



柴田民雄議員（昭和区）

### 設備投資助成 ラーメン屋の実績ゼロ

### 商店リニューアル助成つくれ

まちの商店に寄り添う支援策について質問した青木議員。市が実施している小規模企業者設備投資促進助成について、「ラーメン屋さんに助成した実績はありますか」と問うと、市民経済局長は「実績はない」と答弁しました。

青木議員は、高崎市や大垣市で実施されている「商店リニューアル助成」の創設を要求。河村市長から「これは賛成です」との答弁を引き出しました。



青木ともこ議員（西区）



大垣市の担当者から商店リニューアル助成の説明を聞く青木・岡田議員

実現した市民要望

- 胃がん検診に内視鏡導入。50歳以上500円。2年に1回。
- 保育料の据え置き。
- 学童保育の補助拡充。支援員等処遇改善等事業を拡充、家賃補助を月額38000円→50000円。
- 第3児童相談所を緑区に設置、2018年度開設予定。
- 市営住宅での子育て世帯向けリフォーム（高坂荘）。
- 地下鉄名城線・名港線に可動式ホーム柵、2018年度までに順次。
- 市バスは全車両ノンステップバスに。など

